

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	就労継続支援 A・B 多機能型事業所 Work Game
住 所	沖縄県那覇市真地 173-12
電話番号	098-996-7211

事業所番号	4710101751
管理者名	吉村 光司
対象年度	令和 5 年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所: 901-1111 沖縄県島尻郡南風原町字照屋 303 仲里ビル 102</p> <p>実施日程:令和 5 年 9 月～現在</p> <p>実施した生産活動・施設外就労の概要 お弁当の盛り付け業務がメイン</p> <p>利用者数: 4 名</p>	<p><活動の様子></p> <p>一日 4 時間の勤務を行っている。 作業内容は、お弁当の盛り付け作業で、お弁当の種類によって、配置がかわったりする際に、写真を用意して見本通りにすすめるなどして、対応している。 また、職員に見守られながら作業をすることで、安心して仕事に取り組むことができている。</p> <p>作業内容イメージ画像</p>  
<p><目的></p> <p>地域連携活動の狙い: 挨拶や身だしなみ等マナーを実践し社会性の向上を図る。企業との相互理解と地域で暮らす方々への橋渡しを目的としている。 また、お弁当の調理業務を身に付け活かすことで、自尊心が向上し自信をもって就労することができるよう支援する。</p> <p>地域にとってのメリット: 地域の調理場で、コロナの影響もあり、人材不足で生産性を十分に上げることができていない現状にある。そのため、人材を補強することが急務となっている。そこで、意欲ある利用者を紹介することで、不足分を補完することができ生産性の維持・向上が図れる。</p>	
<p><成果></p> <p>実施した結果: 就労先スタッフから挨拶やお礼などの声をいただくことで、必要な技術及びコミュニケーション能力が向上してきている。また、仕事へ意欲が高まることで責任感も生まれ、やりがいを感じられるようになってきている。</p> <p>課題点: 仕事の完成度など、まだ指導員の介入が必要な状態である。利用者個々の技術の向上、スピードにも差があり、個人の技術、能力を見える化し、適材適所に合わせた仕事の配置や配分を行っている。</p>	

連携先の企業等の意見または評価

<p>連携した結果に対する意見または評価: 当初は不慣れで、作業スピードが安定的でできなかったが、現在は丁寧にスムーズにできるようになってきており、他のスタッフの方々と変わらずお仕事をこなすことができている。 また、不明点や疑問点があれば、すぐに解消するようになっていただいている様で、お仕事をお任せしやすい環境となっている。</p> <p>今後連携強化に向けた課題: 利用者の能力に合わせて、仕事課バリエーションを増やしていけるようにしてほしい。</p>
--

連携先企業名	合同会社 Comolabo	担当者名	山田 真弓
--------	---------------	------	-------